

美 術		澁谷 朋子	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の教養選択科目	科目ナンバリング	22200127

1. 授業のねらい・概要

優れた絵画、美術作品を鑑賞することにより、芸術的感性のみならず人間性をも豊かにする。

また、絵、文字、文章を実際にかくことにより、表現することの喜び、かいたものを手紙として知人などに送る喜びを体験する。

2. 授業の進め方

講義と実習の二本立てで行う。特に実際に画材（例 花、果物など）を見ながら絵を描き文章を書き添える。1回の授業でハガキ大のサイズの場合1～2枚程度を仕上げる。

なお実習に使う道具としては、青墨、筆（墨用、顔彩用各1本ずつ）、顔彩18色、画仙紙はがき、すずり、筆洗い、梅皿など。

3. 授業計画

1. 私の絵手紙記念日。絵手紙の話と線の練習 （自分の名の一文字を書く。）	8. エンピツ、ドローインクペンを使って野外に絵を描きに行く。
2. いつも食べている果物、バナナなどを描いてみる。 （家族の名の一文字を書く。）	9. バラの花をハガキ2枚、ワイドハガキまたは少し大きめの紙に描いてみる。
3. 野菜（例 ピーマン）をハガキいっぱいに描いてみる。 （大吉の文字を書く。）	10. 有名な画家の絵（棟方志功、ピカソなど）を模写してみる。
4. 春の花（例 ハナミズキなど）を描いてみる。 （瓦當、楽の文字を書く。）	11. ドクダミの花を短冊に描いてみる。
5. 春の魚（例 サワラ）を描いてみる。 （熊谷守一のいろはにほへの模写）	12. アジサイの花を色紙に描いてみる。
6. 民芸品、お土産品（例 こけしなど）を描いてみる。 （あいだみつをの文）	13. ケシゴム印を作り、暑中見舞いを描いてみる。
7. 巻紙大の紙に手紙を描いてみる。（画材は自由）	14. 自分のため、友人のためにエコバックに絵を描く。
	15. ハガキ以外のもの、石などに絵を描きペーパーウェイトなどとして使用する。

授業計画はあくまで予定で、その時その時での変更がありますのでご承知下さい。

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業での課題制作の取り組み方は、前回授業時に講評・指導を受けた内容を復習するとともに、授業で配布された参考資料等にも目を通し、事前に確認しておくこと。また次回のテーマを与えられた場合には、そのテーマに沿った題材・画材を各自で考え準備しておくこと。全体で30分ほどの事前準備時間を要する。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

毎回の授業時に制作した課題について、一人一人講評・指導を行う。また次回の授業開始時には、講評や指導が反映され製作された課題を掲示し、そのポイントなどを説明する。

6. 授業における学修の到達目標

絵と文字と文章から成り立つ絵手紙をかき、実際にポストに投函、または提出することにより心と心の交流を図る他、文章力の向上も目指し、かく力を育む。（書育）

7. 成績評価の方法・基準

課題制作と提出（70%）、授業への取り組み姿勢（30%）

8. テキスト・参考文献

小池邦夫 絵手紙の極意 日本放送出版協会 1999

その他の参考文献は授業時に随時紹介する。

9. 受講上の留意事項

条件は特にありません。「絵手紙をかいてみたい。」というその気持ちだけです。

絵手紙は「ヘタでいい ヘタがいい」です。一緒に絵手紙をかいてみませんか。

新しい世界が広がります。

※ 授業内容は、諸事情により変更することがあります。